

情報デザイン論

講義録 4

兼任講師 飯箸泰宏

1. 本日の講義の内容

- ・ SWOT 法

対話法、弁証法--対自的情報コミュニケーション

例示、類似、対比、比喻（暗喩）、図解、変化--ジャーナリストの常套手段
SWOT 法は対比をうまく利用している。

2. 復習

飯箸先生のブログ

http://heartland.geocities.jp/mori_biwa/my_blog/my_blog_jode01.htm

http://heartland.geocities.jp/mori_biwa/my_blog/my_blog.htm

3. 自分の強みと弱みとその対策（課題）

(1) 知識処理の方法に働きかける

人は、例を加える、対比する、類似例を探す、違ったものであっても類似点を探すという知識処理の能力を持っている。

これらの知識処理の能力にターゲットした情報デザインが、例示、対比、類例、比喻（暗喩）である。

人には、もともとの知識のデータベースに、例を加える、対比する、類似例を探す、違ったものであっても類似点を探すという知識処理の能力を持っているために、例示、対比、類例、比喻（暗喩）がされると、容易に自分の知識の中に加えることができる。

特に、2 つのものの対比は、もっとも基本的な人の能力である。このベーシックで強力な能力に働きかけることができれば、伝えたい内容はきわめて印象深く伝えることができるだろう。

(2) SWOT 法

テーマに合わせて表現内容を体系化してみせる一プレゼンテーションのコツです。1 対 1 のコミュニケーションのように、一人の相手の事前知

識だけをたよりに話を進めることはできないので、多数の人が一度に理解できるように、例示、対比（類似）、比喻などの手法を万人向けに体系化することが必要になります。SWOT法は、「対比」をたくみに体系化している例です。

SWOT法は、もともと経営分析の手法です。レポートの書き方のもう一つの定形フォームです。

<http://www.alpha-net.ne.jp/users2/gzmgzm/article/00/37.html>

(2008.05.10 削除)

2003
リンク [SWOT分析とは-1](#) [SWOT分析とは-2](#) [マーケティング用語集](#)
リンク [論理、思考、記憶についての考察と鍛え方](#) [仕事のスキルの書籍](#)

SWOT分析とは、環境を内部/外部に分けて、それぞれのプラス/マイナスの要素を明らかにして、自社を分析する手法。注、「環境」とは自分の外のことを意味しているので、「内部環境」という言葉は自己矛盾ではないかと思う。みんなこのような言葉を使っているとは面白い。

表にすると次のようになる。

	内部環境	外部環境
プラス	強さ(Strength)	機会(Opportunities)
マイナス	弱さ(Weakness)	脅威(Threats)

SWOTとは、Strength/Weakness/Opportunities/Threatsの略。お分かりのように、これはマーケティングに限った話ではなく、何にでも応用できる。

内部環境、外部環境のそれぞれで、項目を挙げて、それぞれの項目について、個別に分析していく。マーケティングにおける項目の例を挙げる。

内部環境。経営ビジョン、製品の機能・品質、販売力、技術力、生産能力、コスト、組織力、人材、財務。

外部環境。競合他社の動向、市場の伸び、技術革新、法規制、景気動向、ニーズの変化。

「内部環境」と言っても、上記の項目をご覧になればお分かりのように、結局は他社や業界平均との比較を行うのであって、純粋に内部だけのものではない。一般論で言えば中小企業は、弱さをカバーするよりも強みを伸ばすことに重点を置く。しかし中堅企業以上においては、弱点(平均以下の部分)は、速やかに克服する必要があり、その後強みを伸ばすことになる。

当然、分析しただけではなく、それを生かすことが必要。いくつもの項目がプラス・マイナスとして出てくるだろう。複数の項目がある場合には、重要度の設定が不可欠。「この強みをさらに生かそう」、「この弱点を重点にして克服しよう」などの判断が必要だ。これが統合。

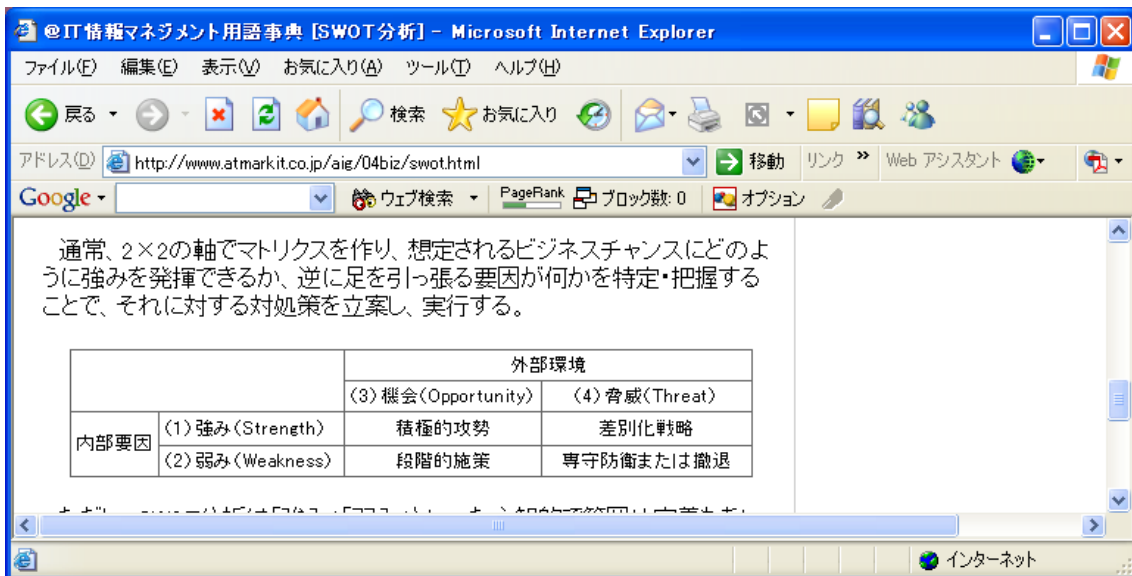
S 強み (Strength)、W 弱み (Weakness)、O 機会 (Opportunity)、T 脅威 (Threat)

この方法を「自分分析」に使ってみよう。

- ・ 事実と主観の区別
- ・ プレゼンテーションの構成とシナリオ
- ・ 良い点と弱点を視覚的に分かりやすく表にする

参考:

<http://www.atmarkit.co.jp/aig/04biz/swot.html>



今回は「自分が進むべき方向と弱点」をテーマに取り上げたい。

表 私の将来 (大学を卒業したら)

私の将来を取り巻く 環境		外部要因	
		O 機会 (opportunity)	T 脅威 (Threat)
内 部 要 因	S 強み (Strength)	a	c
	W 弱み (Weakness)	b	d

・プレゼンテーションソフトの利用方法

MS パワーポイントを使用します。

1. タイトルページ

下記のものを書き込む。

タイトル

作成日時

改訂日時

学籍番号と氏名

2. 目的

自分が進みたい進路を説明する。

3. SWOT分析

SWOT表に、自分の進みたい進路に照らして「強み」や「弱み」、「機会」や「脅威」を書く。(次ページの例参照)

4. 今後の自分の計画

目的の進路に照らして、「弱み」を減らして、「脅威」を取り除くための計画を書く。

次のサンプル参照。

例 私の将来（大学を卒業したら）

1. 私の将来の希望

私は、大学を卒業したら、歌手になりたいと思っています。

2. 自分を取り巻く環境を SWOT 分析すると下記のとおりです。

私の将来を取り巻く環境		外部要因	
		O 機会 (opportunity)	T 脅威 (Threat)
内部要因	S 強み (Strength)	a1 小中高と合唱団に参加していて、ソプラノを歌ってきました。周囲からは上手とされています。 a2 コミカルな話術にも自信があります。 a3 ピアノも小さい頃からやっていて、絶対音感があります。	c1 オペラばかり歌ってきたので、大衆的な歌曲は歌えるかどうか自信がありません。 c2 海外にでかけることが多くなりそうですが、英語が不得意です。 c3 まだ、大衆歌手になるためのレッスンは受けていません。
	W 弱み (Weakness)	b1 自分の特色がまだ分かりません。 b2 父が歌手になることに反対しています。 b3 私の将来の希望を彼氏にまだ話してありません。彼氏は反対かもしれません。	d1 歌手希望の人は多いので、特色がないとダメそうです。 d2 父母の支援がなければやってゆけないだろうと思います。 d3 彼氏が反対だとかなり支障があるでしょう。

3. 今後の方針

今後の方針

私の将来を取り巻く環境		外部要因	
		O 機会 (opportunity)	T 脅威 (Threat)
内部要因	S 強み (Strength)	ピアノの弾き語りで、メロディアス&コミカルな歌曲を選択してゆく。	歌謡曲やポップスは練習にとどめて、当分の間は各国の民謡などを題材にしたメロディアスな曲に特化する。また、海外ではへたな英語がウケるコスプレミュージックも視野に入れる。
	W 弱み (Weakness)	母を味方にして父を説得します。彼氏は、捨てるもよいです。歌が好きな自分を好きになる人を探します。	歌謡曲やポップスでは勝負しない。父母の説得に失敗したらあきらめる。彼氏が反対したら別れる。

(補足)

- 1) これまでの歌の先生が私にあったよい先生を紹介してくれると言っていますので、新しい先生に会ってみようと思います。
- 2) ポップス系のいろいろなコンクールがありますから、練習のためにあえて今年から出てみるつもりです。人前で歌えば自分らしさも発見できそうです。
- 3) 外人教師のいる英会話の学校に通います。また、今の大学を卒業したら、1年くらいはアメリカに音楽留学するつもりです。
- 4) 母は私の考えに賛成してくれそうなので、母からお父さんの説得をしてもらいます。父は母の言うことは大抵聞き入れてくれます。
- 5) 彼氏が難関ですが、自分の将来をわかってくれないときは別れる覚悟ができたので、思い切って話してみます。

いろいろなテクニックも試して、聴衆の関心を引くように工夫しよう。また、内容はクラス内で公表されるので、偽の自分を仮想してプラスバシーを隠してください。

4. おまけの課題

SWOT法を利用した「自分分析」の作品が完成した人は、「わが街の紹介」を作ってみよう。「わが街」とは、生まれたところ、住んだことがある場所、今住んでいる街、これから住みたいと思っている街など、一番気がかりな街ということにしましょう。できるだけそれぞれの場面にふさわしいテクニックを活用して、聴衆をうならせるような作品にしよう。

おまけ作品なので、採点は通常の課題作品の半分だけプラスとします。

5. 本日の課題

(1) 自分分析（主たる課題）

自分のSWOT（strength「強さ」、weakness「弱点」、opportunity「機会」、threat「脅威」）を表にまとめて、「進むべき方向と弱点」を解説し、今後の方針を明確にする。パワーポイントを活用する。作品はメール添付で飯箸先生に送付する。

(2) わが街紹介（おまけ課題）

SWOT法を活用して、パワーポイントを使用する。作品はメール添付で飯箸先生に送付する。

(3) 次の内容をブログに書くこと。

本日の講義の内容を要約（600字くらい）して、その感想（200字くらい）を書く。

補足：メールの書き方（再録）

メールは、「手紙の書き方」に準じて書いてください。ここではメールの書き方に慣れて、他の先生に、「さすが飯箸先生の弟子」とほめられるようになってください。

タメグチメールは、ダメです。下記には皆さんからいただいた良いメールの例を示します。「宛名」「差出人学籍番号氏名」「前略」「(用件)」「草々」などの位置や書き方に慣れてください。

ちなみに、「宛名」と「自分の名前」のどちらかをフルネームにした場合は、両方ともにフルネームにしてください。「自分の名前」をフルネームにして、宛名を苗字だけにすると自分がへりくだりすぎています。逆に（「宛名」=フルネーム、「自分の名前」=苗字だけ）すると、相手が怒ります。自分の名前をフルネームにするということは、「私の名前など、取るに足らないことは、ご存じではないでしょうから、全部お書きいたします」という丁寧表現です。あて先の名前をフルで書いて自分の名前だけを苗字だけにしたり、自分の名前だけをニックネームで書くと「オレ様またはアタイを、知らねエはずはあるめエ」という、大胆不遜な態度に見えてしまいます。

飯箸泰宏先生

181004xxxx ××××××

前略

情報システム論のブログの課題を提出いたします。

用語調べ（グループ課題）

http://xxxxxx.at.webry.info/200905/article_2.html

マシン語の計算結果（個人課題）

http://xxxxxx.at.webry.info/200905/article_3.html

「5月2日（第4講）の講義の要約」と「自分の感想」

http://xxxxxx.at.webry.info/200905/article_4.html

どうぞよろしく申し上げます。

草々

以上

1. 「私の将来の夢」

私は大学を卒業したら、俳優になりたい

2016/5/11 xxxxxxxxxxxxxx 阿倍野 太郎

私の将来を取り巻く環境

外部要因

O機会 (opportunity)

T脅威 (Threat)

S強み (Strength)

- A1 私は小さいときから演劇が好きでたくさんの歌劇や演劇の舞台を見て育ってきたので、俳優さんたちの立ち振る舞いはとてもよく知っています。
- A2 親戚に俳優の人がいます。その人からは普段どんなことをしているのか、私生活の過ごし方などの密着した話を聞いています
- A3 中学高校では演劇部に入っていて部長を務めていたので、経験はあると思います。大学でも演劇サークルの支部長を勤めています。

- C1 演劇のことは詳しいが、ドラマや映画での俳優さんたちみたいにできるかはわからない。
- C2 私はアンダーグラウンド演劇が好きだったので、劇団四季がやるようなテーマがはっきりしている大作や正調の演劇は実はやったことがない。
- C3 プロの演劇指導を受けてみたいが、親戚の人は忙しいしお金もないので厳しそう。

内部要因

W弱み (Weakness)

- B1 容姿はこれといって特にならずに抜けていいわけではない。控えめにいって中の下くらい。身長も高くありません。
- B2 お金がありません。売れない俳優生活は厳しいとよくききます。
- B3 父親がそんな不安定な仕事は大丈夫かと心配してきます。私も先が見えなくて不安ではあります。

- D1 オーディションに受かるには最低限の容姿がいるのだと思いますが、私は中の下です。演技以前に落とされてしまうかもしれません。
- D2 実家はそれほどお金もなく、大学卒業後は一人暮らしをする決まりになっています。しかし、これまでアルバイトをしたことがないので採用されないかもしれません。売れなければ、フリーターでもなければ暮らしていけません。
- D3 親族があまりよく思わない中で支援を受けることは厳しそうです。

2. 今後の方針

私の将来を取り巻く環境		外部要因	
		O機会 (opportunity)	T脅威 (Threat)
内部要因	S強み (Strength)	私の知識の中にある俳優像を表に出していく。より質のいい演技ができるように尊敬している俳優さんの舞台や演劇を絞って見に行く。親戚の俳優さんに紹介を頼んでもらう。	ドラマや映画も積極的に見ていく。多少値は張るが大衆演劇を見に行っこれがすごいというものを見つけて生きたい。いまならYoutubeなどの動画サイトでもコツなどを紹介してくれる人がいるので参考にしていきたい。
	W弱み (Weakness)	アルバイトを始めて少しずつお金をためます。その中で社会の流れも少しずつ学んで今自分がたっているところを再認識して改めて目指すべきか考え直したい。服や身なりを整えるように努力します。眉毛をそったり髪の毛を整えたり、男にでもできるケアをしていきたいです。	アルバイトと演劇と両立させている姿を両親に見せてがんばりを認めてもらう。少しでも理解してもらうことが私には大きいと感じている。またおしゃれをして外見が多少なりとも変われば中身もよくなっていくのではないかと。将来のために少しずつ貯金をします。

補足

- 演技だけでなく、歌や踊りにも挑戦してみようと考えている。表現の幅が増えればうまくなると確信している。
- アングラにこだわらず、新しい要素も織り交ぜたアングラポップな演劇も今後やる。これまでとは違う反応が得られるかもしれない。
- 大学の公式案内で伝統芸能を見るイベントが半期に5回開催されているので積極的に参加したい。